

地域安全福祉事業講習会 免疫力を高め、健康に暮らす生活に

並木まちづくり協議会主催

令和5年2月9日(木) 並木まちづくりセンター講堂で令和4年度、地域安全福祉事業講習会が開催され、40名を超えて参加されました。

開会の挨拶の後、保健師 栄養士の方2名より講義がありました。

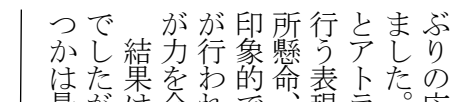


秋の一斉美化運動

11月6日(日) 秋の一斉美化活動が実施されました。大人197名、中学生2名、子供12名、総勢211名が参加しました。

各所で決められた道路で雑草や大量の落ち葉をゴミ袋に詰めて、2か所の公園に運びました。公園では生活環境部の方が

ごみ袋の整理と各班の参加人数の集計を行っていました。春と秋の一斉活動の協力はとでも大切です。綺麗になり、通行しやすい道路になりました。常日ごろのゴミの収集所がカラス等により散らばり、その都度清掃担当はもろいですが、当番以外の方が片付けをしてくださっております。いつも有難うございます。



皆さん一人一人の協力で環境美化に心がけていきます。

参加者の中には、存知の方も多く、健康意識の高さを感じました。1日3食の食事の大切さ、その中でもタンパク質の摂取の重要性と具体的な摂り方を、分かりやすく講義してくださいました。

保健師の方からは身体を動かす筋力低下をしないようにすることが免疫力を高めることに繋がっていくとの内容の講義があり、トコト

コマイレージの紹介もありました。また、サルコペニアのチェック方法や、室内で出来る運動を実際に参加者も行いました。

講義が終了し、フリータイムでは「百歳体操」を実践に行っている方々からの話があり、会場は免疫の活性化にも繋がる「笑い」もあり、とても勉強になりました。

並木地区子ども音楽祭

12月11日(日)に、第22回並木地区子ども音楽祭が並木まちづくりセンターの多目的ホールで開催されました。

受付では、コロナ感染予防対策がしっかりと行われていました。主催者、来賓の方々の挨拶の後、7名のピアノ独演、ピアノとバイオリンのグループ演奏(写真下)、バイオリンの独演があり、優しい音色、力強い音色、様々な演奏に合わせて、身体が自然に動いている方々もたくさんいました。



ピアノ独演が始まり、「崖の上のポニョ」、「ハナミズキ」、「ジングルベル」等では、つい口ずさんでしまうほどで、皆さん素敵な演奏でした。

最後は、美原中学校吹奏楽部(1、2年生)による「青と夏」「新時代」の演奏(左上写真)があり、様々な楽器の織りなす心地良いメロディーに感動しました。

鳴り止まない拍手に添えて「青と夏」をアンコール曲として再度演奏していただき、会場全体が熱気に包まれていました。

「自治会創立五十周年記念誌」遅ればせながら全戸に配布される

2月上旬、「所沢ニュータウン自治会創立五十周年記念誌」が新型コロナウイルス感染拡大で諸行事延期の影響により先行が先延ばしされていた同書をやっと全自治会員に配布することができました。

第12回 ハロウィーンスタンプラリー

10月29日(土)午後2時から所沢ニュータウンふれあい会主催の「第12回ハロウィーンスタンプラリー」が3年ぶりに好天の中賑やかに開催されました。

コロナ感染拡大に伴って、密を避けるため中央小児童と兄弟姉妹を中心に参加を絞り、ニュータウン地区の7チェックポイントのお家でスタンプを押してもらい歩きチェックポイントのお宅では、

とてもきれいに飾り付けしてあり華やかでした。子どもたちは、「トリック・オア・トリート」と言ってお菓子をもらいました。

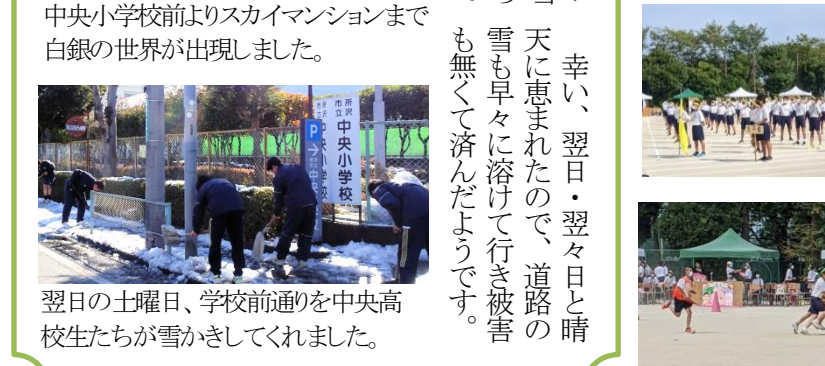
参加者のほとんどが仮装をしてとても賑やかなイベントになったと思います。



久しぶりの銀世界

2月10日(金) ニュータウンは朝から時ならぬ降雪に見舞われ、登校の子たちの歓声が聞こえていました。

幸い、翌日・翌々日と晴天に恵まれたので、道路の雪も早々に溶けて行き被害も無くて済んだようです。



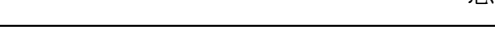
翌日の土曜日、学校前通りを中央高校生たちが雪かきしてくれました。

美原中学校体育祭

9月17日(土)美原中学校体育祭が行われました。コロナ禍ということもあって、当日17日は3年生の保護者のみ観覧。1・2年生の保護者は15日のリハーサル時の観覧となりました。

限られた中での開催となりましたが、子どもたちは自分の持つ力いっぱい発揮しようと全力で挑んでいました。

いわゆる「声援」等を送ることが出来ない状況でしたが、生徒、保護者ともに、応援の気持ちを感じ合えた時間でした。

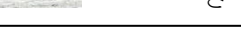


中央小学校 名実ともに運動会開催

令和4年10月1日(土)中央小学校「運動会」が快晴の中、開催されました。3年ぶりに「運動会」という名称に戻し赤群・黄群に分かれ得点制が復活しました。

それぞれの団長の選手宣誓で運動会の幕が開き、その後、4年生・6年生の応援団の生徒を筆頭に、久しぶりの応援合戦が校庭中に響き渡りました。種目は、各学年50メートル競走とアトラクションが一つ、2学年で行う表現運動でした。どの学年も一所懸命、生き生きと行っていた姿が印象的でした。最後、全校大玉送りが行われました。1・6年生全児童が力を合わせて競いました。

結果は赤群が優勝、黄群が準優勝でしたが、本当に接戦でどちらが勝つかは最後まで分かりませんでした。



またコロナ禍ということで、応援は声を出さず拍手で保護者は一杯応援をしていました。参観人数は各家庭2名でしたが、全学年全てのプログラムを参観することが出来ました。

3年振りに「運動会」という形に戻り、子どもたちの頑張りを近くで参観、応援することができ、とても感動しました。ご尽力頂きました先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。



またコロナ禍ということで、応援は声を出さず拍手で保護者は一杯応援をしていました。参観人数は各家庭2名でしたが、全学年全てのプログラムを参観することが出来ました。